

令和3年度商店街等モデル創出普及事業の効果検証について

1. 考え方

本事業を通じて、成果目標の「商店街をさらに安心して買物ができる場とする」を、どの程度達成できたか、商店街および来街者に調査して検証

2. 調査概要

項目	商店街調査	来街者調査
調査対象	R2の107モデル商店街 (R3の11モデル創出商店街 含む)	モデル創出商店街への来街者 (R3の11モデル創出商店街)
調査方法	郵送及びFAX	現地でのアンケート調査
調査時点	R3/11/30	R3/11/26~12/20
調査数	発送:158、回収:130	回収:550(50/1か所)

3. 主な調査項目

商店街調査	来街者調査
・新型コロナウイルス感染症対策の影響 ・府の取組みへの評価 ・需要喚起の取組み ・今後の取組み	・商店街への来街頻度 ・府の取組みへの評価 ・商店街を訪れる目的

4. 調査結果の概要と、本事業管理委員会委員による評価

商店街調査	来街者調査
<ul style="list-style-type: none">○ 新型コロナウイルスの影響によるイベント自粛傾向が続いている。○ このような中、半数近い商店街がイベント、プロモーション等の需要喚起に取組み、7割以上の商店街が来年度需要喚起に取組む予定。○ 新しい生活様式(ニューノーマル)に沿ったICT活用・バイローカルへの関心も高い。	<ul style="list-style-type: none">○ 来街頻度は横ばいの状況。○ 新しい生活様式(ニューノーマル)に沿ったICT活用、バイローカルの取組みに対する評価は8割以上と高い。○ また、買物目的が昨年度に引き続き最も高く、地域商業の担い手としての役割が果たせている。

○ 本事業のICT活用・バイローカルのモデル構築への支援を通じ、組織的な取組みの継続に繋がった。

○ 安心して買物ができる商店街の浸透に繋がっており、本事業が持続的な活性化に寄与している。